

# 森永製菓グループダイバーシティポリシー

## 「一人ひとりの個を活かす」

森永製菓グループは、より多くの人に幸せを届けるために、成長し続ける永続企業となることを目指します。これを実現する原動力は『人』、そしてその力を最大化するのはダイバーシティ&インクルージョンの実践と捉え、経営戦略の中心に位置づけます。

「一人ひとりの個を活かす」という考えのもと、互いに信頼関係を育みつつ誰もが持てる力を発揮し、いきいきと活躍できる状態を作ります。多様な「個」から知の多様性を生み出しかけ合わせることで、変化への対応力＝レジリエンスを高め、新たな価値＝イノベーションを創出することで、お客様と社会の課題を解決し続けます。

### ダイバーシティポリシーを実践するための5つの指針

#### 1. 個の理解と尊重

森永製菓グループは、一人ひとりの違いを知り、認め、相互に尊重します。

アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を正しく理解し、コミュニケーションの質と量を高めることで、互いの考え方や価値観、背景を理解しあい、その違いを活かして相乗効果を発揮します。

#### 2. 全員の活躍を推進

森永製菓グループが目指すのは、全員活躍です。

年齢・性別・人種・国籍・地域・学歴・信条・宗教・障がいの有無・性的指向・性自認・健康状態などの属性に関係なく、一人ひとりの可能性を拓き、能力を発揮できる状態を目指します。そのために、経験や能力に応じた適材適所の実現に努めます。

#### 3. 公平なサポートの実践

森永製菓グループは、一人ひとりを尊重し、多様な生き方を理解した上で公平なサポートを行います。

様々な事情や制約が生じたときにも活躍し続けるために、働きやすい環境を整え、成果や貢献に応じた公平な評価に努めます。

#### 4. 信頼関係の構築

森永製菓グループは、互いに信頼し合うことを大切にしています。

利他の精神を持ち、人の繋がりを大切にすることを通じて一人ひとりと互いに信頼関

係を築きます。

#### 5. 主体性と挑戦の重視

森永製菓グループは、従業員と組織と一緒に成長することを目指します。

一人ひとりが自分の生き方と働き方を考え、自律的に行動するプロフェッショナルとして成長できるよう様々な機会を提供します。そして、主体性や挑戦する姿勢を、成長に不可欠なマインドとして大切にします。

制定日 2021年4月